

# 2015年度（平成27年度） 伊野地区自治協会 活動報告（成果と課題）

## 1 「ふるさと創生」の推進体制をつくる

### （1）まちづくりを推進する委員会を立ちあげる。

「伊野暮らし魅力化プロジェクト」準備会を2回開催し、まちづくりについて議論を行った。様々なアイデアが出されているので、それらを具体化するとともに、さらに多くの人々の参加が求められる。

### （2）各団体が「持続可能な伊野づくり」を視野に入れた取組を行う

青少年育成協議会のふるさとカルタ作りなど、いくつかの団体が積極的に取り組んでいる。引き続き、各団体の独自課題と地域課題をつなげた取組を進めていただきたい。

### （3）自治協会・町内会・各種団体の組織のありようについて検討を行う

人口減少・世帯数減少が深刻化する中で、各組織の活動内容や組織のありようについて検討が必要であるが、今年度は具体的な取組ができなかった。

### （4）まちづくり懇談会開催

市長・副市長・総合政策部長・教育長等を迎えて、伊野のまちづくりの課題について意見交換した。

## 2 伊野の教育魅力化

### （1）伊野小学校支援

①伊野の子育てを考える連絡会議を開催し、伊野小学校支援について意見交換した。小学校からの要請を受けて、来年度、修学旅行経費の助成とプール開放日を延長するためのボランティア募集を行いたい。また、「連絡会議」を継続し、伊野の子育てに関わる諸課題について検討していきたい。

②伊野の教育が抱える課題について、地域学校運営理事会やPTA等の代表が、教育委員会と意見交換会を行い、支援を要請した。

### （2）伊野ベーション支援

#### ①基地づくり

目的や維持管理等について慎重な検討が求められること、及び、伊野ベーション学生の世代交代の時期にあたっていること等を鑑み、実施を見送った。

#### ②学生と地域住民との交流

イベント企画、サマース・クール、文化祭参加等を通して学生と地域住民との交流は着実に深まっている。

## 3 命と安全を守るまちづくり

### （1）防災・減災対策

#### ①原子力災害対応

市主催の原子力学習会に多数が参加した。また、避難先となっている大社町荒木地区の「3.11メモリアルウォーク」に7人が参加した。

#### ②土砂災害対応

地区災害対策本部役員会を開催し、土砂災害対応について検討を重ね、災害対応マニュアルを作成中である。

### （2）ファースト・レスポonder制度導入

各町内で AED 講習会を重ねた結果、全国で5例目となるファースト・レスポ

ンダー体制を確立した。

(3) 防災・減災のための情報インフラ整備

平田 CATV に支援を要請したが、現時点では、回答を得ていない。

**4 農業振興**

(1) 伊野いちの発展

認知度が高まるとともに、レピーターが着実に増えている。最も大きな成果は、伊野小学校が参加することにより、まちづくりと教育がつながったことである。

(2) 農業研究

農業懇話会を開催することはできなかったが、TPP 批准をにらんだ農業政策の変更や伊野地区の課題について、農業者が研修する場を設けることは次年度必ず実施したい。

**5 インフラ整備**

(1) 伊野の道路整備事業を推進する体制を確立する。

伊野地区道路建設事業推進委員会を立ちあげ、伊野地区の道路建設を地区を挙げて推進する体制が整った。また、委員会の役員で市長交渉を行い、伊野地区の道路建設課題を出雲市道路整備事業「第2次 10 年計画」に組み込むよう要請した。

(2) 伊野川井堰改修

農水省への申請作業が終わり、次年度から事業実施の予定である。

**6 福祉のまちづくり**

社協が認知症患者理解の講演会を開催した。来年度、独居世帯の安心カード（緊急連絡先等を記したもの）設置や避難所体験等を実施する予定である。

**7 にぎわい創出・交流人口拡大・定住促進**

(1) ほたるの里を活用した交流人口拡大

コミセン主催のホテル観賞会を実施し約90人が参加した。観賞会はソーシャルラーニングの活動にも組み込まれ、ホテルの里を活用したまちづくりについて学生から提案があった。

(2) 国際交流

国際ワークキャンプを28年度に迎え入れるために、準備会を立ちあげた。また、事業の一部であるりんご山整備事業を進めるための世話人会を結成し、県の助成を受けるための準備が進んでいる。

(3) SNS活用による伊野の魅力発信

ホームページやフェースブック開設については準備が進み、28年度中に開設予定である。

(4) UIターン者受入事業

空き家活用について市やふるさと定住財団と話し合いをしたが、具体策を見いだすことはできなかった。次年度、1～2の空き家活用を実現したい。また、IUターン者を促すための情報発信を具体化したい。

**8 財政見直し**

世帯数減少に伴い、会費収入が減少し続けているので、28年度予算は緊縮財政となっている。収入増を見込めないなので、今後、支出を抑えることが必須であることにご理解を求めたい。